

槻川小学校校章決まる 『槻ノ木の森の花』に

広報10月号で東秩父村小学校統合準備委員会（峯岸貴明委員長・以下「準備委員会」）が募集した槻川小学校の校章案をもとに、校章が「槻川のほとりの槻ノ木の森に咲く紫つつじ（図参照）」をイメージした図案に決定しました。

募集には、21名の方から29件の案が寄せられました。検討の結果、さらなる図案化が必要ということで、寄せられた図案をもとに最終案が作られ、12月4日に開催された東秩父村教育委員会（大久根宏委員長・以下「教育委員会」）で図のとおり決定しました。

選考・作成の経緯

10月 広報で、図案を募集。
11月6日(火) 準備委員会を開催。氏名を伏せた資料を提示。意見交換の結果、「新しいイメージの校章にする」という

方向性を受け、応募作品をもとに図案化することを決め、その作業を5人の方に依頼。

【作業部会 東西小学校長 峯岸貴明・大久根勇、前東西小学校PTA会長 山崎充弘・白石純一、教育長 高野勉（敬称略）】

することにし、延会。
11月12日(月) 教育委員会へ中間報告。

11月15日(木) 第2回作業部会。第1回作業部会の結果、作成された画像に、その後考案された図案を加え、5案に絞り込む。

11月29日(木) 準備委員会を開催。経過を報告し、投票で3案に絞り込み、教育委員会へ具申。

11月10日(土) 第1回作業部会を開催。準備委員会の議論をもとに方向性を協議の後、いくつかの図案を選んでさらに図案化。40図案余りを作成した中から8案を選び、パソコンで図案化（山崎氏に依頼）

12月4日(火) 教育委員会では、村と議会にお願いし、村長・全議会議員・全教育委員が参加した「槻川小学校校章選定会議」を開催し、投票で1案を選考後、教育委員会に諮り、選ばれた図案に、応募者の思いや経緯を参考に「校章に込めた思い」を付して正式に決定。

校章に込めた思い

槻ノ木の森の花

槻川のほとりの槻ノ木（ケヤキの古称）の森に咲く、紫つつじの花を図案化し、「槻ノ木の森の花」としてまとめ、子どもたちが「ふるさとの花」であることを表現した。

また、児童の健やかな成長を願って、村の花である紫つつじで高い理想と学業の成就、村の木である槻の木の葉で生

命力を、槻川の流れて活力と成長発展の意味を込めて、校名に込めた思いの中の「郷土から発し、多くの人々の生活を支え、海へと注ぐ姿（略意）」を表し、成長と発展の願いを込めた。

色を配する場合は、花は紫つつじの色を思わせる淡い赤紫。葉は緑、川は空色を基本とする。

（平成24年12月4日制定）
東秩父村教育委員会

槻川小学校校章



4位入賞!! 秩父駅伝競走大会



▲後列左より、神田百合子さん(4区)、宮崎稔さん(3区)、栗島茂さん(1区)
前列左より、田端麻理子さん(5区)、松宮隆広さん(2区)

11月18日、秩父市郊外において、第51回秩父駅伝競走大会が開催されました。90チームが参加し、5区間23.43kmで競いました。本村から1チームが参加し、男女混合の部において、4位入賞を果たしました。入賞、おめでとうございます!